



## 令和5年度 主な社協の取組みについて

資料 4

従来から社協に所属している地区担当者（コミュニティワーカー）や、今年度からは、市からの委託にて、生活支援体制整備事業における「生活支援・地域支援コーディネーター」の業務を受託し、より一層地域に根差して、住民とともに力を合わせた地域づくりに努めています。



### ●令和5年度の主な取組み

#### 【地域の情報を知ったら伝える、情報発信の強化】

…コロナ禍以降、地域の取組みの様子を様々な媒体を活用して、情報発信の強化に努めています。令和2年度以降、継続的な取組みとして進めています。

【例】社協広報誌「しあわせ」、社協ミニだより「ほのぼの」、フェイスブックなど。

#### 【“あそび”を通じた、楽しい居場所、つながりを広げる】

…新型コロナの取り扱いが、「5類」へ移行したことを受け、地域の中でも様々な交流の場、集いの場が再開されています。人と人との交流の場には、笑顔があふれています。そこには、共通して“あそび”があることが多いです。“あそび”を通じてつながる工夫を共有する機会をつくっています。



↑10/14 第1回福知山あそび万博



↑大池坂町若葉会「輪投げ大会」

#### 【出会い、ふれあいの中で、“共生”を学ぶ…、福祉学習の機会づくり】

…子どもから高齢者、障害の有無に関わらず、誰もがともに楽しく暮らしていくためには、色んな方が出会い、交流することが大切です。関わりや体験の中で、お互いを認め合う、理解し合う関係性につながります。



↑当事者の方からの講演（小学校にて）



↑11/3 親子手話教室